

大腿骨骨折の手術を受ける患者さんへ



患者名 経過	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	様 手術当日(手術後)	担当医	担当看護師	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6～14日目
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/ ～ /
患者の達成目標	・ 不安の軽減ができ、手術にのぞむことができる		・ 体温、脈、血圧が安定する	・ 内服薬等で痛みを軽減し、苦痛なく生活やリハビリを行うことができる ・ 合併症(血栓・麻痺)がなく経過できる ・ ベッド上生活による筋力低下が予防できる							・ 退院に向けて準備ができる	
治療処置	・ 必要に応じ、骨折した側の足をけん引します ・ 血栓予防のために病院で準備した弾性ストッキングを履きます(看護師が行います)		・ 術着に着替えます	・ 足の血流を促すため空気圧の器械で足を圧迫します	・ 医師が毎日診察します	～ 合併症予防のために ～ 【 1. 血栓 】 からだの血管の中でできた血の塊のことを血栓といいます。血栓が血流によって大きな血管を詰まらせることがあり、肺の血管が詰まると息が苦しくなることがあります。手術後はベッド上で過ごす時間が長いので、足の血流が悪くなり血栓ができやすいといわれています。そのため、弾性ストッキングを履き、フットポンプを付け、ベッド上でのリハビリに励みましょう。血を塊にくくするために水をたくさん飲みましょう。肺の血流を促すため、深呼吸をしましょう。 【 2. 麻痺 】 足の向きや置き場が悪かったり、枕による固定を強くしすぎたりすることで神経が圧迫され、足の親指と人差し指の間が痺れる、膝の外側に痛みを感じる、足の指を反らすことができない、などの麻痺症状が出る場合があります。					・ 術後10～14日目を目途に手術創の保護材を外します	
検査	・ 外来で採血あります				・ 採血があります						・ 週に1～2度、採血・レントゲンがあります	
薬剤	・ 普段使っている飲み薬、塗り薬、貼り薬、水薬、目薬を確認します(病院で同じものをすぐに用意できない場合があります) ・ 【手術2日前に入院した方のみ】寝る前に下剤(便を出す薬)を飲みます		・ 定期的に飲んでいいる薬をお預かりします	・ 飲むように指示があった薬だけを飲みます	・ 持続点滴と抗生物質の点滴を行います	・ 抗生物質の点滴を行います 						
食事	・ 食事があります		・ 別紙で説明します 	・ お腹の音、おならの有無を確認したあと、お水が飲めます		・ 朝食から食事を再開します						
安静活動	・ ベッド上安静です ・ ベッドは痛みに応じて起こすことができます		・ ベッド上安静のため歩行できません		・ ベッド上でのリハビリを開始します ・ 状態に合わせて、車いすでリハビリ室に行き立ち上がり歩く練習をします							
排泄	・ 特に制限はありません		・ 手術中に尿管を入れます		・ 医師から歩行の許可が出たら尿管を抜きます							
清潔	・ 看護師が体を拭きます ・ 洗面用の蒸しタオルを朝、夕お渡しします(自分で洗面台に行けるようになるまで)		・ シャワー浴できます(看護師が手伝います)	・ シャワー浴できません		・ 看護師が体を拭きます(術後1日目、3日目) 	・ 手術創を覆ってシャワーに入ります(初回は看護師が付き添います)					
患者家族への説明	・ 担当医、麻酔医が手術、麻酔について説明します ・ 手術部位の誤りが無い様、手術の部位に医師がペンで印をつけます ・ 看護師が入院、手術準備について説明します ・ マニキュア、ジェルネイルは入院前に落としてください ・ 入院中、転倒・転落に注意して下さい		・ 手術中、ご家族に貴重品の管理をお願いします ・ 手術待合室は本館3階にあります 		・ 医師が術後の説明を行います ・ 足首を動かす、足の指をグー、パーするなどの動きで静脈血栓症の予防になります	・ 痛みが増強するときは看護師へお知らせ下さい ・ 痛み止めのチューブ抜去後、車イスor歩行器は看護師と行きます(転倒防止のため) ・ 尿管を抜いた後、数時間あるいは数日経って残尿感や尿が出づらいことがあれば看護師に知らせてください			・ 医師、薬剤師が退院後の生活やお薬に関する説明をします ・ わからないことがあればお尋ね下さい			

※ この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により手術後の経過は様々です。この表より達成が遅れると治りが悪いということではありません。
 ※ ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。